

進路だより

浜田水産高校

第6号 R2.9.30

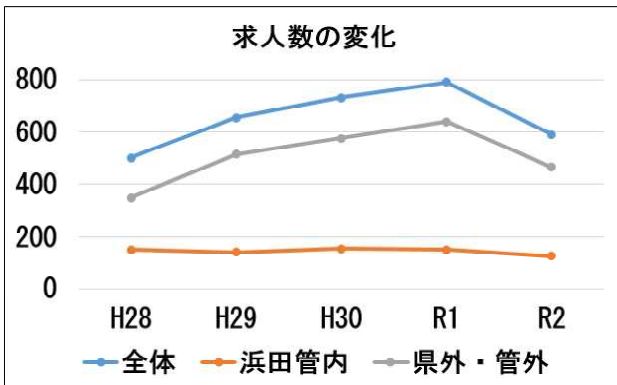
進路指導部

求人票受け付け状況

コロナウイルス感染症の影響で今年の求人は減るだろうと予想していましたが、そのとおりになっていました。進路だより第4号に7月22日現在の求人受け付け状況を載せました。その後現在までに約100件の求人を追加で受け付けたところですが、昨年度の数には遠く及んでいないというのが現状です。

下のグラフは過去5年間の求人票受け付け数の変化を示したものです。今年は全体的に減少していますが、ハローワーク浜田管内にある企業からの求人の減少に比べ、県外・管外からの求人が大きく減少しているのがよくわかります。浜田管内からの求人は昨年度の84%であるのに対し、県外・管外は73%（全体で75%）という結果から、たくさんの企業が事業を行っている、県外都市部に大きな影響が出たということでしょうか。

（※今年度については9月25日現在の数値）



しかし、求人が減ったといっても3年生就職希望者23名に対して591件の求人があり、応募先を見付けるのに苦労するという状況ではありません。また、求人の減少割合は産業によって差があり、本校の生徒が希望する業種はあまり減っていないので、就職活動に影響が出るほどではありません。以上が現在の求人票受け付け状況です。

今後の経済活動が少しでも上向き、来年には2年生の就職活動が今年並、あるいはそれ以上の環境で行えるとよいと思います。

今年の進路活動

コロナによる休校、就職情報交換会と地元企業職業セミナーの中止、3年学年別活動の部分実施、webオープンキャンパス、web面接、夏休

みの短縮、就職に関するスケジュールの1ヶ月後ろ倒しなど、今年は想定外のものばかりでした。採用試験が1ヶ月伸びたことで余裕ができたかというところと全くそうはならず、現時点での進路活動の進み具合を見ると、例年より切迫しているような気がします。なぜこうなってしまったのかその理由について考えてみると、夏休みの短縮に行き当たりました。

例年であれば終業式から8月までの10日間は3年生および3年担任、進路指導部にとっての稼ぎ時です。この間に進学希望者は志望理由書や小論文にめどを付け、学力試験にむけて準備をします。就職希望者は応募前企業見学を済ませて履歴書を書き、学力試験や作文への対策を行います。今年はこの期間がなかったので2学期が始まってからバタバタしてしまいました。進路指導部の読みが甘くて、3年生と担任の先生に迷惑をかけてしまうことになり、申し訳なく思っているところです。

進学率の上昇

平成28年度以降は進学率が40%を超えるようになり、50%に達する年も見られるようになりました。進学先は海洋技術科の専攻科が中心となっていますが、それ以外の四年制大学や短大、専門学校等への進学も増えています。

進学を希望する人は、何百とある学校の中から1つを選ばなければいけません。これは時間のかかる作業です。学校の情報収集など準備を早めに始め、3年生になる前に何校か候補を絞ることができればよいと思います。本校からの進学実績がある学校であれば、詳しい情報を提供できます。1・2年生進学希望者は担任の先生と相談しながら動き始めて下さい。

